



## ① 産業振興補助金について

利用者から一定の支持が得られていることから、メニューや金額は現行を継続

令和6年度は補助金利用者が多く10月末で締め切ったことから・・・

→令和7年度の予算枠を200万円から**280万円**に拡大し要求中

【課題】 直接給与を補填する**雇用促進事業**の補助額が**50%以上**を占めており、継続性のある事業の発展につながっているか不明である産業振興基本条例の基本方針<sup>(※)</sup>を考えると検討していく必要がある

※犬山市産業振興基本条例 第3条 基本方針

産業の振興は、事業者自らの創意工夫、自助努力を基本とし、事業者、産業関係団体、金融機関、教育機関、市民、市などが連携、協働し推進する

## ② 人的リソースに課題を抱える事業者について

産業を担う人材の育成、雇用の確保に繋がる施策をへのニーズが非常に高く、人的リソースに課題を抱える事業者への支援施策の強化が必要という結果に。

人手不足の原因は何か？

≪1≫お金がなくて新規雇用することが難しい

→人件費の直接補助となるような施策を更に増やすことは上記①【課題】のとおり、公益性等に課題がある

≪2≫採用をしようとしても人が集まらず雇うことができない

→金銭的支援ではない施策の展開を検討・深掘りする

なぜ、人が集まらずに採用ができないのか、考えられる理由としては・・・

- ・そもそも求職者に企業の存在が知られていない？
  - ・どんな会社でどんなことをしているのか、伝わっていない？
  - ・働き方や働く環境が今の時代にあっていない？
  - ・新卒者や第2新卒など今時の就職活動に関する情報が不足している？
  - ・若者の考え方が理解できておらず、組織としてのエンゲージメントが低い？
  - ・離職率が高く、採用できたとしても人が定着しない？
- などが考えられます

**人材不足解消に向けて**

**委員の皆さまからご意見をいただけたらと思います**